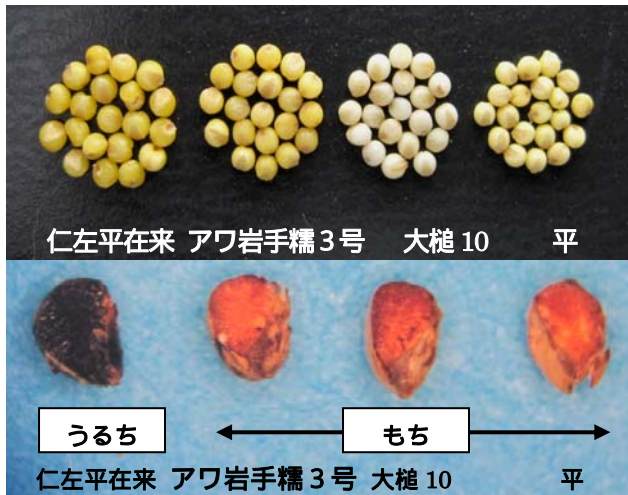


粒が大きくて多収の黄色いもちアワ新品种「アワ岩手糯(もち)3号」

【1 特徴】

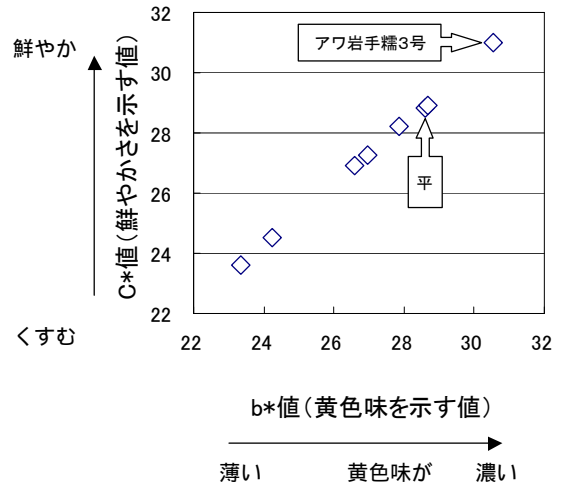
- (1) 「アワ岩手糯3号」の粒は、従来のもちアワ「平」より大きくて鮮やかな黄色です。
- (2) 草丈が比較的短く、「平」より多収で、多収系統「大槌10」並みの収量です。
- (3) 県内に伝えられていた「仁左平在来」(二戸市)と「大槌10」(大槌町)の人工交配で作られた新品种です。



上段：新品种と両親と「平」の粒色比較
 下段：ヨード・ヨウ化カリで染めたアワ粒
 (「うるち」は青紫, 「もち」は赤紫に染まる)

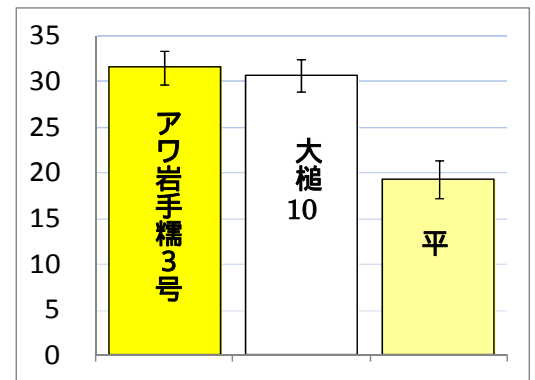
アワ新品种と従来品種の稈長 (cm)

	H23	H24	平均
アワ岩手糯3号	139	132	135
仁左平在来	158	132	145
大槌10	154	147	151
平	143	126	135



新品种と県内の黄もちアワ7系統との玄穀色比較

(C*値は $L^*a^*b^*$ 表色系の値を用い、
 $(a^*)^2 + (b^*)^2$ により算出)



新品种と従来のアワとの収量比較

(kg/10a: 平成23・24年平均)

エラーバーは標準誤差

【2 期待する活用効果】

鮮やかな粒色と大きな粒を活かした加工原料利用による雑穀用途の開拓と需要拡大。

【3 留意点】

- (1) 平成25年度に品種登録申請, 平成26年度から一般栽培開始予定です。
- (2) 長稈化をさけるため, 当面の施肥量は窒素成分で4kg/10aとします。
- (3) 耐虫性は従来のアワ並みと考えられます。